

平成 23 年度 (2011)

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

日 本 史

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A (マークシート) と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A (マークシート) の受験番号欄をマークすること。
  2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
  3. 解答用紙 A (マークシート) への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
  4. 解答用紙 A (マークシート) の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。  
(解答例) 

(12)
------

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 

(12)
------

 の ③ にマークすること。  
なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。  
例えば、空欄 

(19)
------

(20)
------

 の解答が 36 の場合、解答欄 

(19)
------

 の ③ にマークし、解答欄 

(20)
------

 の ⑥ にマークする。
  5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
  6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

①  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

770年に即位した (1) (2) 天皇は、藤原百川らのたすけを受けながら律令政治の再建に着手し、行政改革と緊縮財政の実現のために役人の減員をこころみた。(1) (2) 天皇の施政を継承した桓武天皇は、天皇権威の強化をはかり、それまでの伝統にとらわれずに人材を登用した。また784年に長岡京に遷都したが、中心となった藤原種継が暗殺されて造都は中止された。しかし794年に新京を造営し、平安京と名づけた。一方、780年、陸奥国の郡司で蝦夷の族長 (3) (4) が乱を起こすと、桓武天皇はこれに対して強硬な姿勢で、蝦夷の武力制圧と郡制を施行する領域の拡大をめざした。802年には征夷大将軍坂上田村麻呂のもとに蝦夷の有力首長 (5) (6) は降伏した。同年に坂上田村麻呂は北上川中流域に (7) (8) 城を築いて鎮守府を移し律令国家の版図を拡大した。しかし、805年の藤原緒嗣による (9) (10) によって軍事と造作は停止された。嵯峨天皇の時代に (11) (12) が北方の蝦夷を攻撃して、征夷の成功を宣言し、以降軍事的征討はなくなった。

桓武天皇は地方官である国司や郡司への取締りを強めた。また、郡司の子弟で弓馬にたくみな者を守備にあたらせる ( a ) の制を設けた。嵯峨天皇の時代には蔵人所を設置して天皇の信任が厚い藤原冬嗣・(13) (14) を蔵人頭に任命した。また嵯峨天皇は、平安京内の警察にあたる ( b ) を設けた。( b ) は、のちには裁判も行うようになり、京の統治をになう重要な職となった。藤原冬嗣は左大臣に栄進し、その子 (15) (16) は858年に清和天皇の外祖父として臣下ではじめて摂政となった。さらに光孝天皇の即位とともに (15) (16) の養子で太政大臣の (17) (18) がはじめて関白の実務を行うようになった。(17) (18) は (19) (20) 天皇が出した阿衡に任ずるとした勅を撤回させて、関白の政治的地位を確立した。(17) (18) の死後、(19) (20) 天皇は菅原道真を重用して藤原氏を抑えようとするが、菅原道真も醍醐天皇の時代に藤原氏によって失脚させられ、藤原氏を中心とする宮廷貴族社会が成立していった。10世紀前半の (ア) 醍醐天皇・村上天皇の時代には人材の活用と文運の興隆に努力が払われた。しかし、このころには律令体制の基礎である土地公有の原則が崩れて、班田収授の実施も困難となってきた。調・庸を負担する男子の数も激減し、国家財政は破綻しつつあった。10世紀以降には貴族や大寺社の権威を背景に、(イ) 中央政府から税の免除(不輸)を認めてもらう荘園が増えた。

平安前期は唐風文化の成熟期であった。平安初期から9世紀後半ころまでの文化を弘仁・( c ) 文化と呼ぶ。(ウ) 大学での学問も重んじられ、有力貴族が大学別曹をつくるようになった。また空海は (21) (22) を京都に設立し庶民教育をめざした。書道では唐風の書が広まり、嵯峨天皇・空海・(23) (24) らの能書家が出て、のちに三筆と称された。唐のおとろえもあって894年に遣唐使の派遣は中止された。大陸文化の影響が弱まると、これまで摂取してきた文化をしだいに消化して、日本の風土や日本人の生活にかなったものにつくりかえる動きがみられるようになった。10世紀以降の文化は、文化の国風化という特色がみられることから国風文化と呼ばれる。これまでの勅撰漢詩文集にかわって、醍醐天皇の勅命により『 (25) (26) 』が編集された。また和歌や漢詩文の対句に節をつけて詠ずる朗詠も盛んで、(27) (28) は『和漢朗詠集』を編集した。書道では、(29) (30) ・藤原佐理・藤原行成が三跡(蹟)と称された。特に藤原行成は和様書道を完成させて、その子孫は (31) (32) 流と呼ばれ能書の家となった。平安中期には、念仏を唱え来世において極楽浄土に往生することを願う浄土教が流行した。10世紀後半には源信が念仏実践の書である『( d )』を記した。極楽浄土を願うために、阿弥陀堂の建立が流行し、藤原頼通が平等院鳳凰堂を建立した。数多くの阿弥陀仏がつけられたが、なかでも定朝が (33) (34) の技法で優美な和様を完成した。

宮廷貴族社会では、朝廷で年中行事が滞りなく行われることが重視された。儀式を行う時の細やかな行動規範が求められ、先例が積み重ねられた。先例を子孫に伝えるために、貴族は日記を記して毎日の政務や儀式を記録した。また先例を分類整理し、祖先の口伝や教命を受け継いで、儀式のあり方をくわしく記した儀式書もつくられた。儀式書には源高明の『(35) (36)』や院政期の大江匡房の『(37) (38)』などがある。

[A] 文中の空欄 (1) (2) ~ (37) (38) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 朝野鹿取	12 阿知使主	13 阿豆流為	14 阿倍比羅夫	15 胆沢
16 一木造	17 宇多	18 大江千里	19 大友黒主	20 大伴健岑
21 小野道風	22 河海抄	23 勸学院	24 元慶の乱	25 紀古佐美
26 紀広純	27 清原夏野	28 江家次第	29 光仁	30 弘文院
31 古今和歌集	32 巨勢野足	33 後撰和歌集	34 伊治咎麻呂	35 西宮記
36 最澄	37 拾遺和歌集	38 綜芸種智院	39 青蓮院	40 承和の変
41 志波	42 世尊寺	43 塑像	44 多賀	45 橘奈良麻呂
46 橘逸勢	47 徳政相論 (論争)	48 仁明	49 藤原公任	50 藤原実資
51 藤原実頼	52 藤原広嗣	53 藤原道隆	54 藤原基経	55 藤原基衡
56 藤原泰衡	57 藤原良房	58 文室綿麻呂	59 平城	60 北山抄
61 本朝文粹	62 文徳	63 陽成	64 良岑安世	65 寄木造
66 螺鈿	67 凌雲集	68 令義解	69 蓮華王院	70 和気清麻呂

[B] 文中の空欄 ( a ) ~ ( d ) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

[C] 文中の下線部 (ア) ~ (ウ) について以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

(ア) この親政は年号をもとに、のちに何と呼ばれたか。

(イ) この荘園の呼びかたを漢字 4 字で答えなさい。

(ウ) この時代に漢文学・中国史を学ぶ科目は何と呼ばれたか。漢字 3 字で答えなさい。

II. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

19世紀に入ると問屋制家内工業がさらに発展し、需要の多い産業では作業場を設け賃労働者を集めて製品を生産する工場制手工業も行われるようになった。このような生産形態は摂津の (あ) では江戸時代前期からみられたが、19世紀には大坂周辺や尾張の (い)、桐生・足利の (う)、川口の (え) などでもみられるようになった。地域市場が各地に成立すると、兵庫や大坂向けに蝦夷地や日本海沿岸の産物を扱う (39) (40) や瀬戸内海沿岸と江戸の間を運航する尾張の (41) (42) など、新興の廻船業者も活躍するようになった。また江戸周辺の地域では江戸向けに ( e ) と呼ばれる安価な商品を提供する産地が多く誕生した。

商品経済の発展に伴って農民闘争の形態・要求内容も多様になり、江戸時代後期には参加者の範囲が郡・国にまで拡大した(エ) 国訴と呼ばれる農民闘争も起こるようになった。また江戸時代中ごろからは、村役人を兼ねる豪農と貧農・小作人との間で村の運営や小作料などを巡って対立が生じ( f )が各地で頻発した。豪農は商品生産と流通の主な担い手であると同時に、田畑を抵当にした金融により( g )という形で村内外から田畑を集積し、これを小作人に貸して小作料を取る地主でもあった。田畑を手放した百姓は小作人や賃労働者となったが、都市に流れ込むものも多く、農村では人口が減少して荒廃する地域が出る一方、都市には裏店借りの貧しい下層民が増加した。関東では治安の悪化も大きな問題となり、1827年、幕府は関東の村々に(43) (44) を結成させて治安維持と農民統制の強化を図った。

幕府や諸藩は海防問題や農村復興に追われ極度の財政難に直面したが、天保期ごろから財政再建と藩権力の強化をめざして大規模な藩政改革に取り組む藩も現れた。(お)藩では1827年から(45) (46) を中心に財政改革に着手し、三都商人からの負債を事実上帳消しにするとともに密貿易や(47) (48) の専売によって収入を増大させた。(か)藩では(49) (50) が中心となって藩政改革を行い、( h )と呼ばれる農地改革策を実施して本百姓体制の再建を図り、(51) (52) の専売を進めて財政に余裕を生み出した。1831年に専売制に反対する(53) (54) が起きた(き)藩では、(55) (56) を中心に改革が進められ、多額の藩債整理を行うとともに赤間関などに設けられた( i )を通して他国廻船の積荷を対象に金融・倉庫業を行って莫大な利益をあげた。(く)藩では(57) (58) らが登用されて財政再建や対外危機に備えた改革が行われ、1841年には藩士の子弟教育のために藩校弘道館が開かれた。(け)藩では(59) (60) が財政再建や人事刷新を行い、由利公正らを登用して藩政改革を推進した。これに対し幕府では、(オ) 将軍家慶のもとで(カ) 老中水野忠邦を中心に 享保・寛政にならった改革が行われた。

18世紀後半から政治や経済の改革を具体的に提言する経世論が活発になり、商品経済の発展という現実に順応することで体制の維持ないし改良をめざす経世思想も出現した。(61) (62) は武士が商業を卑しむのは誤りであると批判して『稽古談』を著し、(63) (64) は産業の国営化と貿易による振興策を主張して『経済要録』を著した。一方、農政についての学識と経験を活かして農村の復興にあたるものも現れ、勤勉と儉約を説いた二宮金次郎は( j )と呼ばれる独特の手法にもとづいて自力更生による農村の再生に尽力した。

[A] 文中の空欄(39) (40) ~ (63) (64) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |          |         |         |          |         |
|----------|---------|---------|----------|---------|
| 11 安藤昌益  | 12 上杉治憲 | 13 内海船  | 14 江川英竜  | 15 おこぜ組 |
| 16 改革組合村 | 17 海保青陵 | 18 過書船  | 19 紙     | 20 加茂一揆 |
| 21 北前船   | 22 黒砂糖  | 23 郡内一揆 | 24 後藤象二郎 | 25 五人組  |
| 26 蒟蒻    | 27 佐藤信淵 | 28 漆器   | 29 島津忠義  | 30 調所広郷 |
| 31 高瀬船   | 32 太宰春台 | 33 伊達秀宗 | 34 伊達宗城  | 35 樽廻船  |
| 36 寺請制度  | 37 陶磁器  | 38 鍋島直茂 | 39 鍋島直正  | 40 林子平  |
| 41 菱垣廻船  | 42 藤田東湖 | 43 紅花   | 44 防長大一揆 | 45 本多利明 |
| 46 松平信明  | 47 松平慶永 | 48 村田清風 | 49 山内豊著  | 50 山内豊信 |
| 51 山片蟠桃  | 52 吉田東洋 |         |          |         |

[B] <1> 文中の空欄(あ)(い)(う)(え)の組合せとして最も適切なものを下の選択肢から1つ選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (65) にマークしなさい。

- |   |         |          |          |         |
|---|---------|----------|----------|---------|
| 1 | (あ) 醸造業 | (い) 綿織物業 | (う) 絹織物業 | (え) 製陶業 |
| 2 | (あ) 製糸業 | (い) 綿織物業 | (う) 絹織物業 | (え) 鋳物業 |
| 3 | (あ) 醸造業 | (い) 綿織物業 | (う) 絹織物業 | (え) 鋳物業 |
| 4 | (あ) 製糸業 | (い) 絹織物業 | (う) 綿織物業 | (え) 製陶業 |
| 5 | (あ) 醸造業 | (い) 絹織物業 | (う) 綿織物業 | (え) 鋳物業 |

<2> 文中の空欄(お)(か)(き)(く)(け)の組合せとして最も適切なものを下の選択肢から1つ選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (66) にマークしなさい。

- |   |        |        |        |        |         |
|---|--------|--------|--------|--------|---------|
| 1 | (お) 薩摩 | (か) 土佐 | (き) 長州 | (く) 肥前 | (け) 宇和島 |
| 2 | (お) 長州 | (か) 肥前 | (き) 薩摩 | (く) 水戸 | (け) 越前  |
| 3 | (お) 薩摩 | (か) 水戸 | (き) 長州 | (く) 肥前 | (け) 土佐  |
| 4 | (お) 薩摩 | (か) 肥前 | (き) 長州 | (く) 水戸 | (け) 越前  |
| 5 | (お) 長州 | (か) 水戸 | (き) 薩摩 | (く) 土佐 | (け) 宇和島 |

<3> 文中の下線部(オ)について、家慶の将軍在職中の出来事の説明として最も適切なものを下の選択肢から1つ選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (67) にマークしなさい。

- ロシア使節プチャーチンが来航して国境画定などを含む日露和親条約が下田で締結され、下田・箱館・長崎が開港された。
- アヘン戦争での清国の敗北を聞いた幕府は薪水給与令を発し、清国はイギリスとの間で上海など5港の開港や香港割譲などを内容とする天津条約を締結した。
- 武蔵の徳丸原で高島秋帆による西洋砲術の演習が行われ、幕府の武術訓練機関である講武所が江戸築地に正式に発足した。
- カリフォルニアの金鉱発見後、アメリカの西部開拓が進み、対清国貿易の寄港地として日本の必要性が高まったため、通商を求めてアメリカ使節ビッドルが浦賀に初めて来航した。
- 内憂外患の危機を説いて海防策の即時実行などを求めた徳川斉昭の意見書である「戊戌封事」が幕府に提出された。

<4> 文中の下線部(カ)について、水野忠邦が行った施策に関する説明として最も適切なものを下の選択肢から1つ選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (68) にマークしなさい。

- 物価高騰を抑制するため株仲間解散令や物価引き下げ令が出されたが、質を落とした貨幣の発行も行われた。
- 江戸や大坂周辺の私領を幕領に編入する上知令を出したが、代替地をまったく与えようとしなかったため旗本や大名の反発にあって挫折した。
- 庄内藩の財政救済のため川越藩松平家・庄内藩酒井家・長岡藩牧野家の三方領知替が命じられたが、諸大名の反発や川越藩領民の反対一揆にあって翌年撤回された。
- 出版規制が行われ、社会の風俗に悪影響を及ぼすとして人情本作者の為永春水、合巻作者の柳亭種彦、出版元の蔦屋重三郎らが処罰された。
- 藩営の専売制を禁止するとともに株仲間再興令を出して新興商人を幕府の統制下に置くことにより物価と流通の安定を図ろうとした。

〔C〕 文中の空欄（ e ）～（ j ）に入る最も適切な語句を解答用紙Bの所定の解答欄に書きなさい。

〔D〕 文中の下線部（エ）について、1007カ村が参加したとされる1823年の摂津・河内の国訴の場合、主たる要求内容および闘争手段はどのようなものであったか。解答用紙Bの所定の解答欄にそれぞれ10字以内で書きなさい。

### Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

明治政府は富国強兵などをスローガンとして、経済発展と軍事力の増強による近代国家の形成をめざしていた。1890年7月に第1回総選挙が実施された。当時の有権者数は約 (69) (70) 万人であった。同年11月に第1議会（第1回帝国議会）が開かれた。12月に当時内閣総理大臣であった (71) (72) は施政方針演説を行い、陸海軍経費増強の必要性を強調した。立憲自由党と (73) (74) などの民党は反対していたが、政府はかろうじて軍拡予算案を成立させた。第2次伊藤内閣の時には軍艦建造費などを含む予算案をめぐる、議会がまた紛糾した。結局、1893年に天皇による詔書が出されたことによって、予算案は修正可決された。

1894年、朝鮮で (75) (76) が起こった。それを鎮圧するために、朝鮮政府が清国に軍隊の派遣を要請した。清国は朝鮮政府の要請を受けて出兵するとともに、 (77) (78) に従ってこれを日本に通知し、日本もこれに対抗して出兵した。その後、日清両国は朝鮮の内政改革をめぐる対立を深めた。7月に日本は (79) (80) で清国艦隊を攻撃し、8月1日に清国に宣戦布告を行った。戦いは日本の勝利に終わり、1895年4月に日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清国全権李鴻章との間で下関条約（日清講和条約）が結ばれた。これによって、日本は朝鮮の完全な独立、( k )・台湾・澎湖諸島の割譲、賠償金2億両の支払いなどを清国に認めさせた。その後、( k )は三国干渉によって清国に返還されたが、その代償として日本は3000万両を得た。それらの賠償金は日本の財政基盤を支えることになった。

日本に割譲された台湾では、割譲反対派により ( l ) の建国が宣言され、日本に抵抗する動きが起こった。1895年に日本は台湾に総督府を設置して、(81) (82) を初代台湾総督に任命し、1945年まで植民地支配を行った。日露戦争終結ののち、日本は ( m ) を結んで韓国の外交権をうばい、漢城に韓国の外交を統轄する統監府をおいた。1909年、伊藤博文が中国のハルビンで韓国人の安重根によって暗殺された。(キ)1910年に日本政府は併合条約を成立させて、韓国を植民地化した。日本は朝鮮総督府を設置して、初代朝鮮総督に (83) (84) を任命し、1945年まで植民地支配を行った。

日清戦争以降、多くの中国人留学生が日本にやってきた。1905年に清朝打倒をめざす (85) (86) が東京で成立し、中国の民族革命運動の気運が高まった。1911年に辛亥革命が起こり、翌年に (87) (88) を臨時大總統とする中華民国が成立して、清朝が倒れた。中国人留学生の中には、中華人民共和国初代首相になった (89) (90) がいた。また、後に中国国民党の指導者になった (91) (92) と (93) (94) も日本留学経験者であった。(91) (92) は1926年から国民革命軍を率いて北伐を行い、中国の統一をめざした。(93) (94) は、(ク)日中戦争さなかの1938年に国民政府の臨時首都であった重慶を脱出し、1940年に南京に新国民政府を樹立した。

第2次世界大戦後、中国では国民党と共産党との対立が激化し、内戦が始まった。1949年10月1日に (95) (96) を主席として、中華人民共和国が北京で成立した。同年12月に (91) (92) の率い

る国民党が台湾に移り、中華民国政府を存続させた。1952年4月に日本は中華民国と (97) (98) を結んだ。しかし、1972年9月に (ケ) 田中角栄首相が訪中し、 (89) (90) 首相との間で (99) (100) が調印されたことによって、日本は中華民国と断交した。朝鮮半島では、 (101) (102) 年に北緯38度線を境にして、その南部にアメリカの支持する大韓民国（韓国）が成立し、その北部にソ連の支持する朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が成立した。1965年6月に、佐藤栄作内閣は大韓民国の (103) (104) 政権と日韓基本条約を結び、国交を樹立した。一方、日本と北朝鮮の間では、2002年9月に ( n ) が日本の首相として初めて平壤を訪れ、 (105) (106) 総書記と会談を行い、日朝平壤宣言を発表したが、国交はまだ樹立されていない。

[A] 文中の空欄 (69) (70) ~ (105) (106) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A（マークシート）の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |             |           |             |             |
|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 11 45       | 12 98     | 13 306      | 14 1948     |
| 15 1949     | 16 1950   | 17 袁世凱      | 18 王希天      |
| 19 汪兆銘      | 20 王陽明    | 21 華興会      | 22 樺山資紀     |
| 23 巨文島      | 24 江華島    | 25 甲午農民戦争   | 26 甲申事変     |
| 27 江沢民      | 28 興中会    | 29 金泳三      | 30 金正日      |
| 31 金大中      | 32 金日成    | 33 黒田清隆     | 34 児玉源太郎    |
| 35 後藤新平     | 36 斎藤実    | 37 周恩来      | 38 朱徳       |
| 39 蔣介石      | 40 蔣経国    | 41 壬午軍乱     | 42 孫文       |
| 43 中国同盟会    | 44 寺内正毅   | 45 寺島宗則     | 46 天津条約     |
| 47 鄧小平      | 48 南京条約   | 49 日華関税協定   | 50 日華平和条約   |
| 51 日台交流民間協定 | 52 日中共同声明 | 53 日中軍事停戦協定 | 54 日中平和友好条約 |
| 55 溥儀       | 56 北京条約   | 57 豊島沖      | 58 朴正熙      |
| 59 松方正義     | 60 毛沢東    | 61 山県有朋     | 62 立憲改進黨    |
| 63 立憲政友会    | 64 立憲民政党  | 65 李承晩      | 66 李登輝      |
| 67 劉少奇      | 68 廖承志    | 69 黎明会      | 70 若槻礼次郎    |

[B] 文中の空欄 ( k ) ~ ( n ) に入る最も適切な語句や人名を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

[C] 文中の下線部 (キ), (ク), (ケ) について、以下の設問の解答を、解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (キ) 韓国併合条約が調印された時の日本の首相は誰か、その氏名を書きなさい。
- (ク) 日中戦争開始後、「挙国一致・尽忠報国・堅忍持久」をスローガンに、近衛文麿内閣が推し進めた運動は何と言うか。
- (ケ) 田中角栄は高度成長を促進しながら産業を全国の地方都市に分散させ、それらを新幹線と高速道路で結ぶ構想を打ち出した。この構想は何と呼ばれているか。